



安全・安心をお届けいたします

グリーンプロジェクト情報 第3号

きらきら Eyeランド
JA庄内みどり

発行：庄内みどり農業協同組合
協力：酒田農業技術普及課

しっかり浸種・しっかり催芽！！ 播種は芽切れ90%以上を確認してから！

仙台管区気象台の1か月予報（3月29日発表）では、4月の天気は数日の周期で変わり向こう1か月間の気温は平年より高いと予想されています。

播種作業については、作業機械の整備、点検を万全に整え、催芽90%以上の芽切れを十分確認し、全員で品種や手順を確認してから作業を行きましょう。

また、圃場の排水対策をしっかり行い、早めの耕起作業を心掛けましょう。

技、其の一 上手な催芽は健苗づくりの基本です

- ① 催芽温度は30～32℃とし、芽の長さはハト胸状態とします。
- ② **必ず90%以上の芽切れを確認してから播種作業に入ります。**
- ③ 催芽時に“活水”（100倍液）を使用することで更に発芽が促進されます。



ばか苗病の対策

- ばか苗病の発生を助長させないよう育苗期間中は以下のことに気をつけましょう。
- 育苗培土や苗床に籾殻や生焼けのくん炭を使用しないで下さい。また、稲ワラや籾殻を育苗施設周辺に放置しないで下さい。（腐熟が不十分な堆肥を含む。）
 - 出芽を早めるための高温管理は行わないで下さい。（32℃上限）※技、其の三参照
 - ベタ張り期間が長くなると、ばか苗病の発生を助長するので避けて下さい。
 - 各生育ステージの最適温度を遵守し、高温にならないようにして下さい。

技、其の二 適正な播種量と育苗マットの注意点

極端な厚播きは軟弱苗の原因となるので、下表を順守し健苗づくりに努めましょう。

1箱当り播種量の基準

	目標葉齢	育苗日数	乾燥籾重	催芽籾重	催芽容量
稚苗	2.5葉	25日	150～180g	180～210g	1.6～1.8合

※育苗マット使用上の注意点

- ・育苗マットの場合は、播種機の灌水パイプを1～2本増設し、マットにたっぷり灌水して下さい。（目安として2割/箱）また、覆土はやや多めにかけて下さい。
- ・「こめパワーマット」・「エースマット」は、白い面（肥料の塗ってある面）が表面となりますのでご注意ください。
- ・今年から「エースマット」の規格が変わり厚さが16mmから13mmになります。保水力低下で水分不足の場合、高温障害になりやすいのでご注意ください。また、覆土が厚くなり過ぎないようにご注意ください。（1.2～1.4kgが目安）
- ・覆土は、通気性、透水性を損なわない粒子の粗めのものをご使用下さい。
- ・灌水量は、覆土にしみ込む程度に調整して下さい。
- ・昼夜の温度差が大きいと、障害が発生し易くなるので日中の高温に注意して下さい。

技、其の三 出芽時の最適温度は 32℃厳守

出芽温度が32℃を超えると高温障害が起きやすいだけでなく徒長苗や、ばか苗病の原因となり、苗の仕上がりに影響するので、出芽時の温度管理には細心の注意を払いましょう。※適切な温度管理の為に**必ず温度計を床土に挿して測りましょう。**

○出芽不良の場合

出芽不良の場合は、“活水”の50倍液を箱当たり100～200ml施用して下さい。3日おきに2～3回が目安です。（特別栽培米では、化学合成N成分使用量0.01kg/10aがカウントされます。）

○被覆資材の種類と取り扱いに注意

『ダイオシート』

マルチ下の高温に注意し、日中の必要な時間帯はハウス全体を被覆し、高温障害を防止しましょう。

『シルバー被覆資材（ふあふあSL-60等）』

出芽期間中に高温障害の発生が多いので下記を参考に高温対策に努めましょう。

- ① マルチの上にベタがけのホットンカバーやラブシートを併用する。
- ② 高温になりそうな好天日は、早めの換気操作でハウス内の温度上昇を防ぎましょう。

技、其の四 地力・品種に合わせた本田基肥設計

地力の高い土壤では、施肥にそれほど頼らなくても、十分な生育量を得ることが出来ます。良食味米生産のために、地力・品種に合わせた適正な基肥量を施用しましょう。

地力別品種別基肥量の目安

（窒素成分：kg/10a）

品 種	地 力			
	高い ←			→ 低い
	細粒強グライ土	細粒グライ土	中粗粒グライ土	中粗粒灰色低地土
はえぬき・雪若丸	3.5	4.0	5.0	6.0
ひとめぼれ	3.0	3.5	4.0	5.0
つや姫	3.0	3.0	3.5	4.0

乾土効果を高めるために**耕起は早めに実施しましょう。**（裏面へ続く）



つや姫・雪若丸情報コーナー



○土づくりを積極的にしましょう。

土壌分析の結果、pHが低下し、ケイ酸が不足している圃場が増えています。堆肥や土壌改良資材を積極的に投入しましょう。

○播種の準備をしましょう。

催芽は32℃1～2日を目安として、芽の長さ1mm程度（ハト胸状態）で揃った催芽のみを播種しましょう。

雪若丸は千粒重が大きいので、必ず播種量を確認してから播種作業を行きましょう。

- 堆肥を毎年散布している圃場では、基肥窒素量を基準値より 0.5～1.0kg/10a 程度減らして対応しましょう。
- 大豆等の後作では、はえぬきで対応し、基肥窒素はゼロとしますが生育量を見ながら追肥しましょう。
- 特別栽培米については、あらかじめ決められた栽培基準を厳守しましょう。

水田の排水状況を確認し、明渠の手直しや明渠と排水口とをスムーズにつなぐ等の作業を行いましょう。又、サフノイラーにより、暗渠の排水効果を高めましょう。



技、其の五 直播栽培のポイント

《鉄コーティング湛水直播栽培》

- **播種時、播種後の水管理と適正苗立ち数**
代かきからは2～3日間程度圃場を落ち着かせてから播種しましょう。播種時の目安は、ゴルフボールを1mの高さから落として半分埋まる程度の固さに調整しましょう。
播種同時または播種直後に除草剤を散布した場合は、7日間湛水して除草剤の効果を安定させましょう。その後圃場が過度に乾かない程度に5日程度落水し、出芽を促進させましょう。



適正苗立ち数 80～100 本/m²の確保に努めましょう。鉄コーティング湛水直播栽培

《カルパーコーティング湛水直播栽培》

- 播種時は圃場の表面水が残る程度の落水とし、土中播種となるように田面の固さを調整しましょう。
播種後は土中の種子の出芽を促進するため、落水期間を7～9日程度（平均気温が14℃の場合）設定します。おおむね出芽が揃ったら入水し、一発除草剤を散布します。

《乾田V溝直播栽培》

- 播種作業は4月中に完了させましょう。極端な乾燥状態が続く場合は一時的にフラッシングを行い、早期の苗立ち確保に努めましょう。



不耕起V溝直播栽培

○ 除草剤の散布

- ①出芽前除草剤(ラウンドアップマックスロード等)の散布は、周辺圃場の代かき前までに散布しましょう。**※飼料用米での出芽前除草剤散布は『草枯らしMIC』です。**
- ②ヒエ5葉期以前で、圃場に入水する5日位前、イネの葉齢で1.5葉(5月下旬～6月上旬)を目安にクリンチャーバスME液剤等を散布します。

直播栽培で使用できる除草剤は限られています。使用時期・使用方法等を確認して適切に使用し、効果的な除草に努めましょう。

☆直播栽培歴作成しました！

水稻直播の栽培歴を作成しました。鉄コーティング直播と乾田V溝直播の2種類です。生育ステージごとの留意点をわかりやすく記載しました。各営農課指導員にお問合せ下さい。また、JA庄内みどりのホームページ (<http://midorinet.or.jp>) にも掲載していますのでご覧下さい。

特別栽培米の方々へ

特別栽培米は計画した資材を計画通りに使用することが求められます。

使用する際は資材名を確認し、定められた使用量・使用時期を必ず守りましょう。尚、栽培基準(ガイドライン)以外の資材を使用した場合、一般米扱いとなりますので、安易に自己判断することなく、最寄りの営農課までご相談下さい。

播種・育苗期間中における注意事項として

育苗期間中混乱が生じないように特別栽培米である目印や、品種名等がすぐわかるように表示するなど工夫をしましょう。

- ・ **注意 本田畦畔及び周辺に除草剤は使用できません。**
(田植え前の散布でも使用できません)
隣接農家と相互理解をはかりましょう。

○ トラクター等による農作業事故を防ぎましょう！

農作業事故が最も多い季節です！安全第一をお願いします。
4/10～6/10は「春季農作業事故防止運動強化月間」です。

○ 農薬は適正に使用しましょう！

①適用作物 ②使用量・希釈倍数 ③使用時期 ④総使用回数を守りましょう。

※ケラの予防対策として育苗置き床に使用できる登録農薬はありません。

波板などの設置による侵入防止策、有孔ポリを敷くなどの対策を行って下さい。

○ 栽培履歴は必ず記帳しましょう！

○ トラクターでの作業終了後は、圃場で土・泥を落としてから公道を走行して下さい。

☆育苗ハウスで野菜を作付される方へ！

ポジティブリスト制度施行後に、育苗箱からこぼれた箱施用薬剤や薬剤処理後の漏水で農薬の成分が土壌に残り、後作の野菜が吸収し検出される事例が発生しています。

箱施用薬剤は、ハウス内での使用は避け、田植え前に圃場で散布しましょう。又、箱施用剤を床土混和した場合は、後作で野菜の栽培をしないでください。

詳しくは、JA園芸課又は、各園芸センターへお問い合わせください。